

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月17日

事業所名 POCO南アルプスしらね

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・3人がけのテーブルの真ん中をあけて常に距離をとっている。 ・活動時は必要に応じて、テーブルや椅子を出し入れしスペースを確保している。 ・スペース確保のため軒下を利用して、個別活動をおこななど、工夫をしている。	・個別対応が必要な場合、相談室や軒下、場合によっては外出などを考えていく必要がある。
	2	職員の配置数は適切である	7	1		・基準の人数配置を満たしている。	・個別対応が必要な児童が複数いるときは、配置以上の人数が必要と感ずることもある。送迎などを工夫して対応していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8				・室内の一部はバリアフリー化されているが、完全ではない。現時点では、問題ないが今後検討する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			・毎朝ミーティングと事業所内ミーティングを定期的におこない、情報共有と共通認識をもって療育できるよう、努めている。 ・本部と責任者打合せや責任者ミーティングを定期的におこない、振り返り→評価→改善を徹底し改善につとめている。また職員への周知徹底もしている。 ・事業所と個人の目標を定め、よりよい療育と支援ができるよう協力している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8				・保護者の意向や意見を尊重し、全員が受け止めて改善につなげたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			・毎年、公開している。 今年度も3月中旬に公開予定。	今後も引き続き、漏れのないようおこなう。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8				・第三者委員会は設置しているが、現状は評価を受けるまでに至っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・定期的に社内研修を開催している。 ・積極的に、外部研修を受講し個々のスキル向上に役立っている。	引き続き、よりよい支援を目指し、個々のスキルを向上するために、積極的に参加する。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			・児童発達支援管理責任者が中心となって会議をおこない、情報共有と個々のニーズを把握するようつとめている。 ・全職員が個別支援計画等を把握している。	引き続き、ニーズや課題について把握、分析し、よりよい計画と質の高い療育をめざし、計画を立てていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			・SM社会生活能力検査の実施し、職員間での共有と保護者へのフィードバックを実施し、よりよい療育を目指している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			・正社員で話し合い、計画を立てている。また実施後に振り返りと評価などを必ずおこなっている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・曜日ごとに基本プログラムはあるが、固定化されないよう、内容を工夫してきた。	来年度より曜日固定ではなく、月毎に入れ替えて活動を実施し、より多くの利用者に今以上に様々な体験をしていただけるよう工夫する予定。 ・利用者の希望を聞いたり話し合ったりと、意見を聞きながら実施することもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			・月一回イベントを取り入れて、様々な体験できる機会を増やしている。 ・平日、休日、長期休み、季節に応じて、計画している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・毎日、個別活動と集団活動を計画し、実施している。	子どもの状況だけでなく、特性に合わせ個別活動をおこなっているが、さらに工夫できることを日々考えながら計画をたてていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・毎朝ミーティングをおこない、振り返りをし、問題があれば解決できるようにしている。 ・安全に利用していただけるよう、感染症対策や送迎の確認など徹底しておこなっている。	引き続き職員間の支援内容や役割分担を確認し、よりよい支援をめざしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		・毎日実施している。 ・当日に難しい場合は、情報共有ノートを通して、全職員漏れのないようにしている。	引き続き、売り帰りをし、もれなく情報共有をしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・HUGに業務日誌・活動記録・ケア記録など、毎日記録し共有している。内容については、毎朝ミーティングをおこない、話し合っている。	HUGでの記録を引き続き、もれなくおこない、職員間でしっかりと共有していく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			・定期的にモニタリングを実施している。必ず職員と保護者で共有し、必要であれば、計画の見直しをしている。	引き続き定期的にモニタリングをおこなうことはもちろんのこと、必要であれば随時おこなう。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	8			・ガイドラインについて全職員が理解し、基本活動を複数組み合わせ、支援している。	引き続き、子どもの状況に応じて創意工夫し、支援の質の向上をめざしていく。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・基本的に児童発達支援管理責任者が中心となっておこない、全正社員が参画し、記録している。	引き続き、担当者会議をもれなくおこない、記録していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			・送迎時、または会議などで学校と情報共有をしている。 ・連絡調整は迅速、かつ適切におこなっている。 ・送迎は複数で確認し、前日または当日までに打合せおよび確認をしている。	引き続き、学校との情報共有をおこない、トラブルのないよう連絡調整していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	1			・現在は対象児童がいない。(受け入れをしていない)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			・相談員を通して情報共有をしている。 ・過去に作成された支援計画がある場合は、共有していただき、拝読している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8			・まだ対象児童はいないが、今後移行する児童に対し、Poccoworksを紹介するなど、情報提供している。 ・コロナ禍でしばらく実施されていないが、就労見学会などのイベントへが実施された場合は、参加をする予定である。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			・専門機関と連携し、研修を受けている。	・研修だけでなく、相談できる体制が整っているため、引き続き連携していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8			・不定期ではあるが、スポーツなど通じて実施をした。コロナが落ち着き、今以上に増やせるようにしていく。	・必要ないと感じる保護者もいるため、内容など相談、検討しながらおこなっていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8			・機会があれば参加している。	・引き続き参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・送迎時や連絡帳やHUGなどの複数の連絡方法を使って情報共有している。必要に応じて、電話や面談をおこない共通理解を持つようにしている。 ・来所した日の様子をHUGのケア記録に記録し写真添付もして、保護者に公開している。	引き続き、丁寧な説明をおこない、安心して利用していただけるようつとめる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8			・定期定期に、顧問学校心理士の研修会や個別相談会への参加を呼びかけをしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・見学时や契約時に説明をおこい、理解していただいている。	・会議や送迎時などを利用し、必要な時に丁寧におこなう。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・送迎時や会議などを通しておこなっている。	引き続き、安心して利用していただけるよう支援していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1		・コロナの影響で交流はさけたが、Poccoカフェを開催し、きっかけ作りができた。	・コロナの状況により実施していない。 ・いつでも支援できるように、準備を進めたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・迅速に対応している。	職員間の情報共有も丁寧におこない、苦情に至る前に保護者が相談できる体制作りをしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			・現在、SNSや公式LINEを通して定期的に配信している。 ・不定期ではあるが、ニュースレターを配布していたが、今後は完全にSNSに切り替えていく予定である。	積極的な発信をめざしていく。
	35	個人情報に十分注意している	8			・仕事やパソコンを自宅に持ち帰らないようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			・職員間で情報共有し、定期的にミーティングを実施し共通認識図りおこなっている。	引き続き、HUGなどデジタルの利用と、送迎時などの対面の両方で、丁寧におこなう。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8				・コロナが落ち着いていないため、難しい状況ではあるが、状況をみながらおこなっていきたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			・契約時に保護者に説明している。	安心してご利用いただけるよう、契約時だけでなくおこなう必要があるため、改善していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			・定期的におこなっている。全員実施できるよう、何度かおこなっている。	保護者の方にHUGを通しておこなっていることを説明しているが、安心してご利用いただけるよう、対面でも伝える必要があるため、改善する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			・身体拘束、虐待防止、年2回の実施している。 ・虐待防止委員会を設置されている。 ・虐待の防止等のための責任者の設置もされている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			・契約時に保護者に説明し、同意書を書いていただいている。 ・やむを得ずおこなった場合は、口頭・書面で詳細をお伝えしている。	個別支援計画へ明確に明記し、保護者に丁寧に説明していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			・保護者から同意書を書いていただいている。 ・キッチンにアレルギーの児童の表があり、共有している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			・ヒヤリハットノートを作成しいつでも書くことができるようになっていた。また職員間での共有を毎日おこなっている。	引き続き、もれないよう職員間で共有し、必要があれば改善していく。